



# 広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

平成31年1月  
財務省 中国財務局

(平成31年1月30日公表)

**【お問い合わせ先】**

中国財務局経済調査課(藤吉、藤田)


電話 (082) 221-9221(代表)  
(082) 223-3038(直通)

Fax (082) 221-3845

<http://chugoku.mof.go.jp/>

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復している」









項目	前回（平成30年10月判断）	今回（平成31年1月判断）	前回比較
総括判断	平成30年7月豪雨の影響により回復のテンポが緩やかになっている	緩やかに回復している	

(注) 平成31年1月判断は、前回平成30年10月判断以降、平成31年1月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### (判断の要点)

個人消費は回復しつつあり、生産活動は緩やかに回復している。雇用情勢は着実に改善し、人手不足感が一段と広がっている。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（平成30年10月判断）	今回（平成31年1月判断）	前回比較
個人消費	回復しつつある	回復しつつある	
生産活動	豪雨の影響が薄まりつつあるものの、豪雨前の水準まで戻っていないなど、回復のテンポが緩やかになっている	緩やかに回復している	
雇用情勢	着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている	着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている	
設備投資	平成30年度は前年度を上回る見通し	平成30年度は前年度を下回る見込み	
企業収益	平成30年度は減益見通し	平成30年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅は拡大	「上昇」超に転じる	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を下回る	前年を上回る	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果や復旧需要に支えられ回復していくことが期待される。ただし、人手不足による企業活動への影響や通商問題の動向を含む海外経済等の不確実性などに注視していく必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店販売は、地元プロ野球チーム関連のセールなどは好調であったものの、冬物衣料や食料品などが低調であり、前年を下回っている。コンビニエンスストア販売は惣菜などが、ドラッグストア販売は食料品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・販売台数）は、普通車、小型車、軽乗用車ともに前年を上回っている。これらのことなどから、個人消費は、全体では回復しつつある。

#### （主なヒアリング結果）

- 高級腕時計や海外ブランド製品などの高額品や地元プロ野球チーム関連のセールなどは好調であった。衣料品は、紳士服やコートなどの重衣料などの動きは悪いが、地元プロ野球チーム関連のセールやリニューアル効果などもあり婦人服の売れ行きは良い。（百貨店）
- 暖冬のため鍋用の食材などの動きは良くないが、蒸し大豆、サバ缶や亜麻仁油などテレビ等で健康に良いと取り上げられた商品の売れ行きは良い。（スーパー）
- 気温が高く推移したことなどから、カイロなどの冬物商品やハンドクリームなどの保湿ケア商品の動きは良くないが、化粧品は引き続き堅調で、生鮮食品を中心に食料品が好調である。（ドラッグストア）
- 惣菜や素材系の冷凍食品などの売れ行きが良い。また、消費者の健康に配慮したおにぎりや弁当などの売れ行きも堅調である。（コンビニエンスストア）
- 暖冬で冬物商品の動きは良くない一方、天候の良い日が続いたため園芸用品の動きが良かった。また、豪雨などの災害の修繕やリフォーム関連でのDIY用具や資材の需要が続いている。（ホームセンター）
- 人気のSUVの売れ行きが引き続き好調である。（自動車販売）

### ■ 生産活動 「緩やかに回復している」

輸送機械は、自動車が国内外の需要が堅調であることなどから、増加している。一般機械は、欧州向けの建設機械が堅調であることなどから、増加している。電気機械、プラスチック製品は、液晶テレビ向けの部材が堅調であることなどから、増加している。鉄鋼は、建築や自動車向けなどで堅調な動きとなっている。このように、生産活動は、全体では緩やかに回復している。

#### （主なヒアリング結果）

- 豪雨の影響により生産量を抑えて操業していたが、9月上旬に通常生産体制に戻っており、国内外のSUVの需要が堅調なこともあり、好調な生産が続いている。（自動車）
- 豪雨によりサプライヤーが被災したため操業を一時的に休止していたが、休日を返上することで減少分の生産台数を挽回できた。足下では欧州向けの建設機械の受注増に対応するため、フル生産が続いている。（一般機械）
- 射出成型機などの受注状況は以前に比べると落ち着いてきているが、受注残が積み上がっているため、足下の生産状況はフル操業が続いている。（一般機械）
- 4K、8Kの実用放送が始まり、液晶テレビ向け部材の引き合いが増えてきている。（電気機械、プラスチック製品）

### ■ 雇用情勢 「着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている」

有効求人倍率（平成30年9～11月）は2.12倍と、全国の1.63倍と比べ高水準で推移しているほか、新規求人数も増加しているなど、雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている。

#### （主なヒアリング結果）

- 営業職が不足しているため、有料の求人広告なども利用して募集しているが、応募がない。（化学）
- 豪雨災害の復旧工事関連の依頼が増加しているが、技術者の数が不足しているため、全ての依頼に対応できない。技術者の募集をするも採用できないことから、依頼の一部は断っている。（技術サービス業）
- 平成31年4月の新卒採用において、計画の2倍以上の人数に内定を出したものの、辞退者が多く、計画よりも少ない人数しか採用できなかった。（小売）

■ **設備投資** 「平成 30 年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」平成 30 年 10~12 月期

- 製造業では、自動車、生産用機械などで増加するものの、鉄鋼、その他製造などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。
- 非製造業では、その他のサービスなどで減少するものの、金融・保険、小売などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

(主なヒアリング結果)

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>➢ 前年度に自家発電設備を更新した反動で減少する。(鉄鋼)</li><li>➢ 店舗建て替えに関する投資を予定している。(金融・保険)</li></ul> |
|---|

■ **企業収益** 「平成 30 年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」平成 30 年 10~12 月期

- 製造業では、その他の輸送用機械、生産用機械などで増益となるものの、自動車、化学などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、運輸・郵便、不動産などで増益となるものの、小売、建設などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『上昇』超に転じる」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」平成 30 年 10~12 月期

- 企業の景況判断 BSI は、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、給与住宅、持家が增加しているものの、貸家、分譲住宅が減少していることから、前年を下回っている。

■ **輸出** 「前年を上回る」

- 県内通関実績(円ベース)で見ると、輸出は、電気機器、船舶などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中南米などで増加している。  
なお、輸入は、石油製品、石炭などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中東欧・ロシア等などで増加している。

# 広島県内経済情勢報告

(平成31年1月)

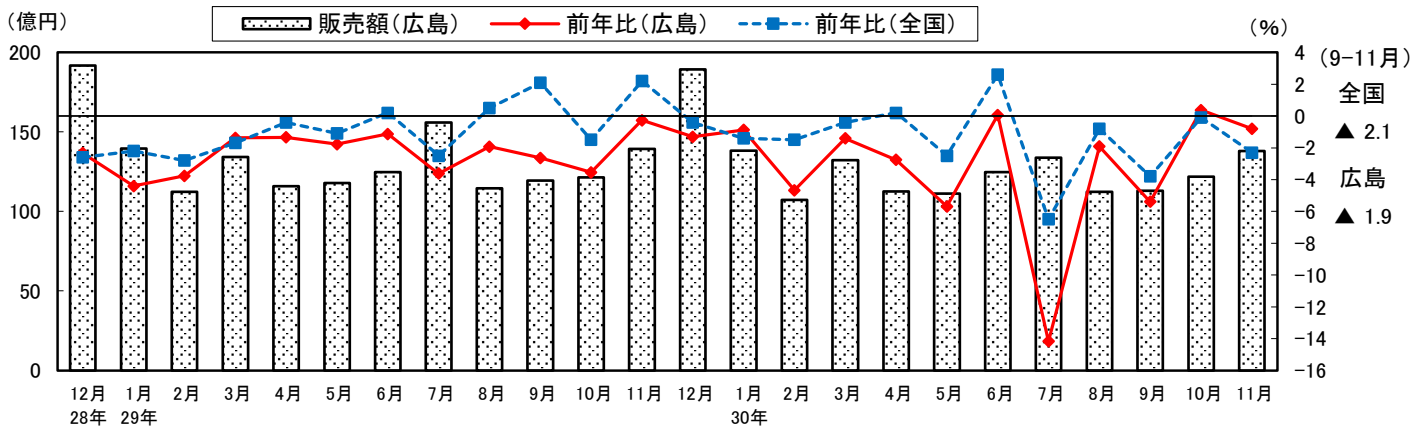
## 資料編

	目次	ページ
1.	個人消費	1
2.	生産活動	3
3.	雇用情勢	4
4.	設備投資	5
5.	企業収益	6
6.	企業の景況感	6
7.	住宅建設	6
8.	輸出	7

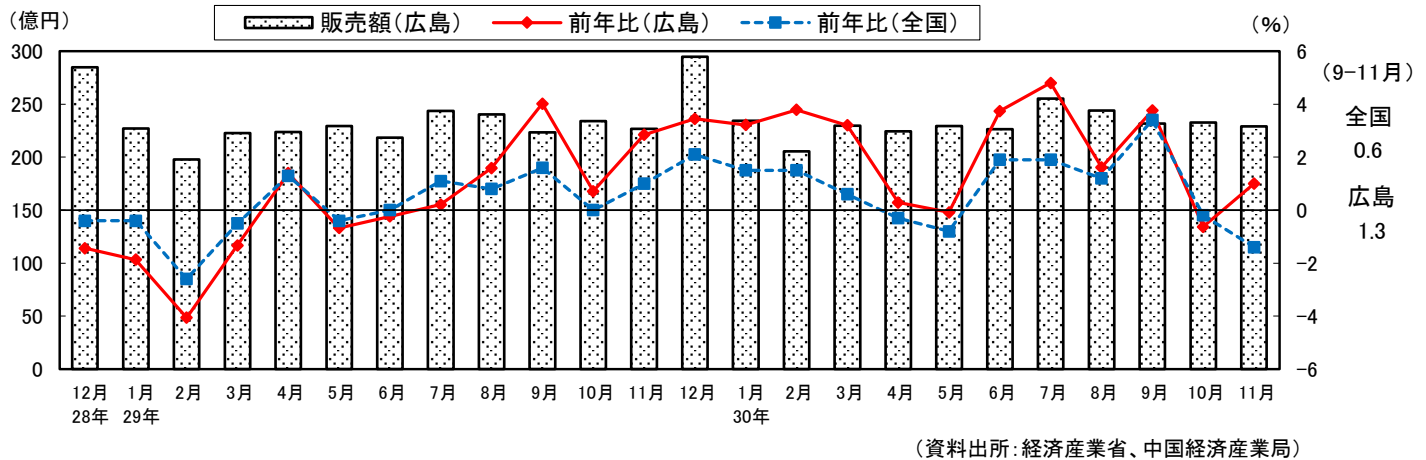
\*上記の項目ごとに掲載しているグラフの枠外（右側）に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした前年比。（但し、生産活動は鉱工業生産指数及び前期比、雇用情勢は有効求人倍率を記入。）

# 1. 個人消費 回復しつつある

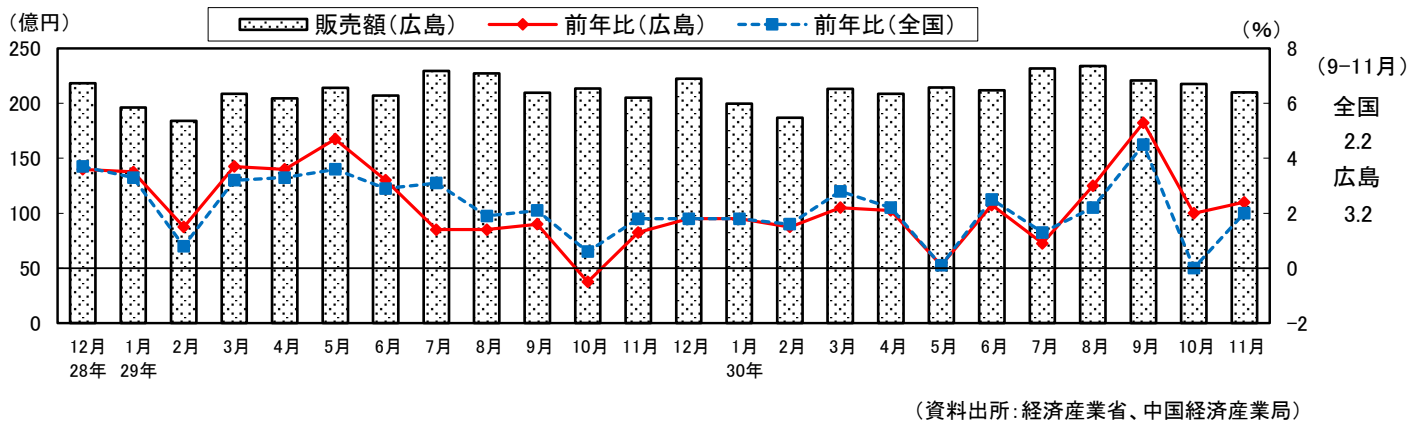
## (1) 百貨店販売額(全店舗)



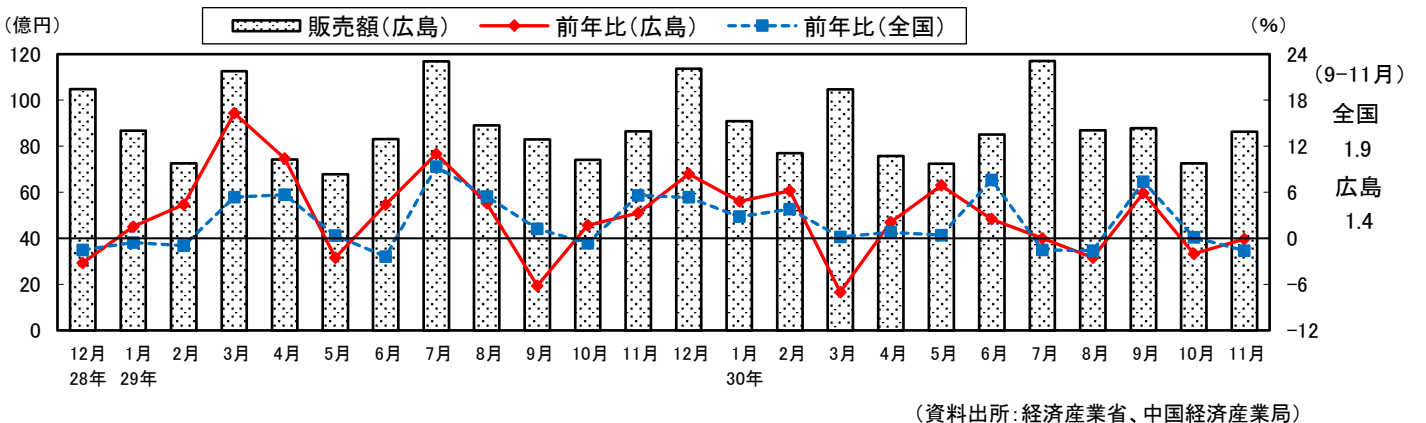
## (2) スーパー販売額(全店舗)



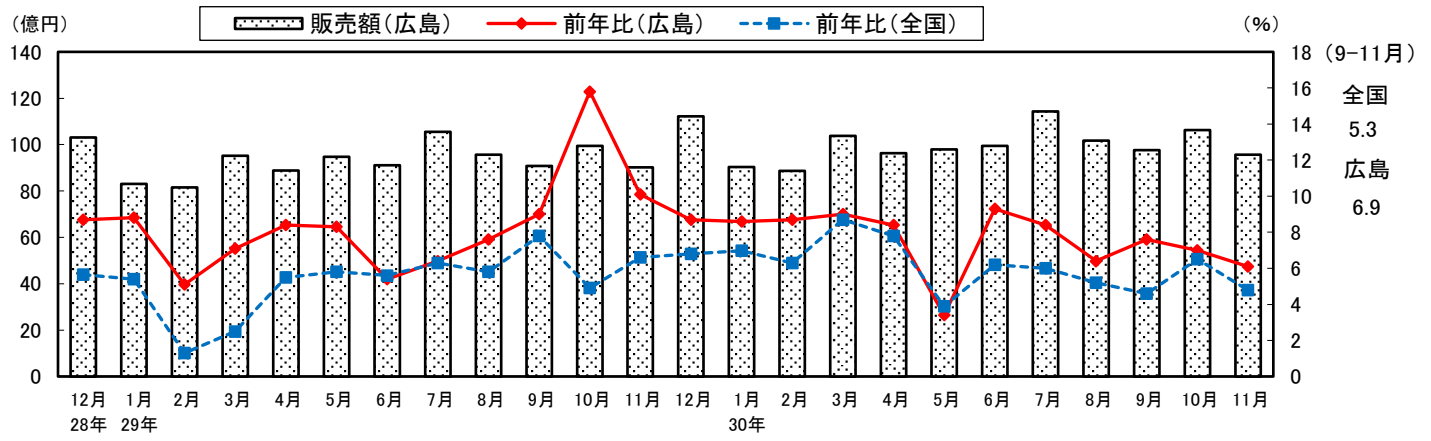
## (3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



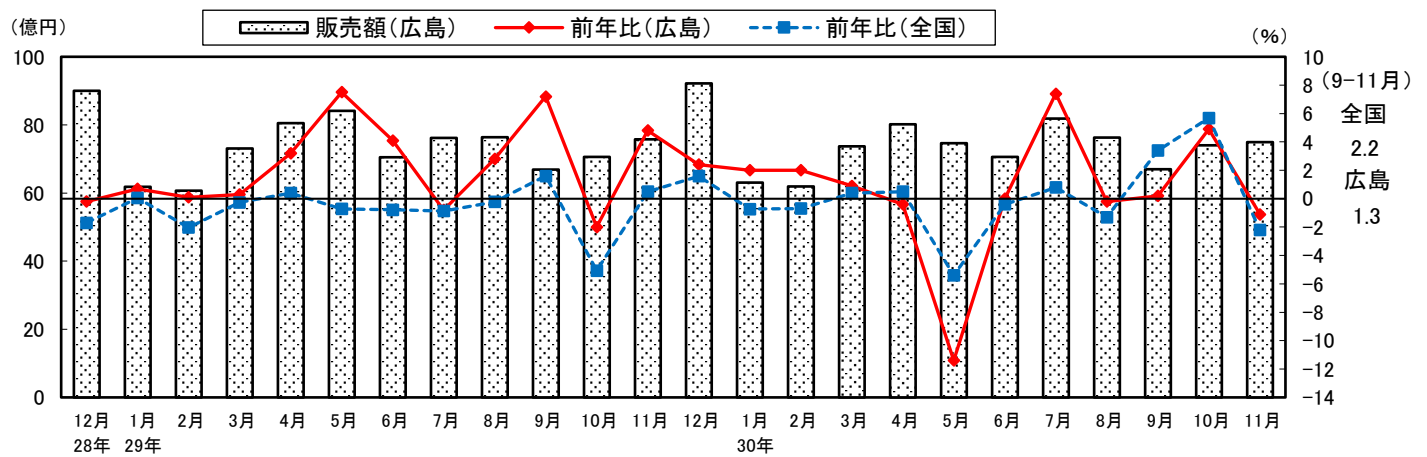
## (4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



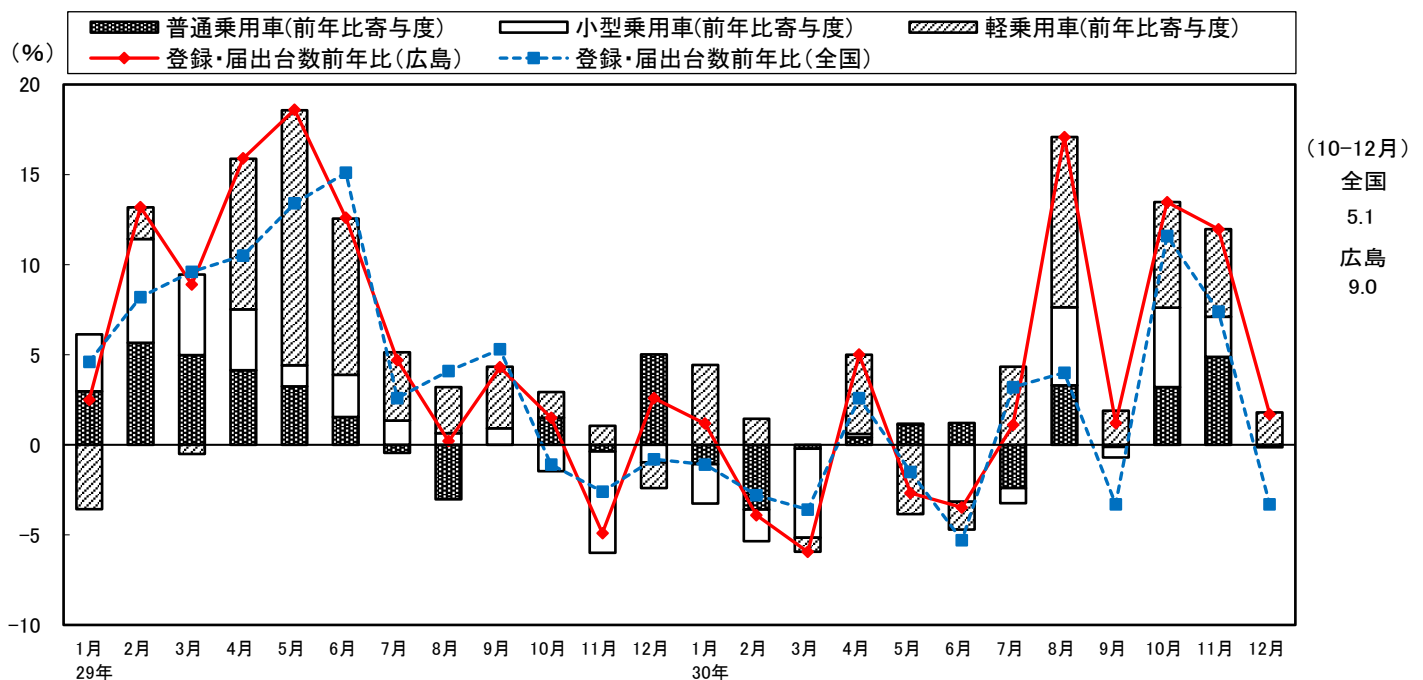
(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

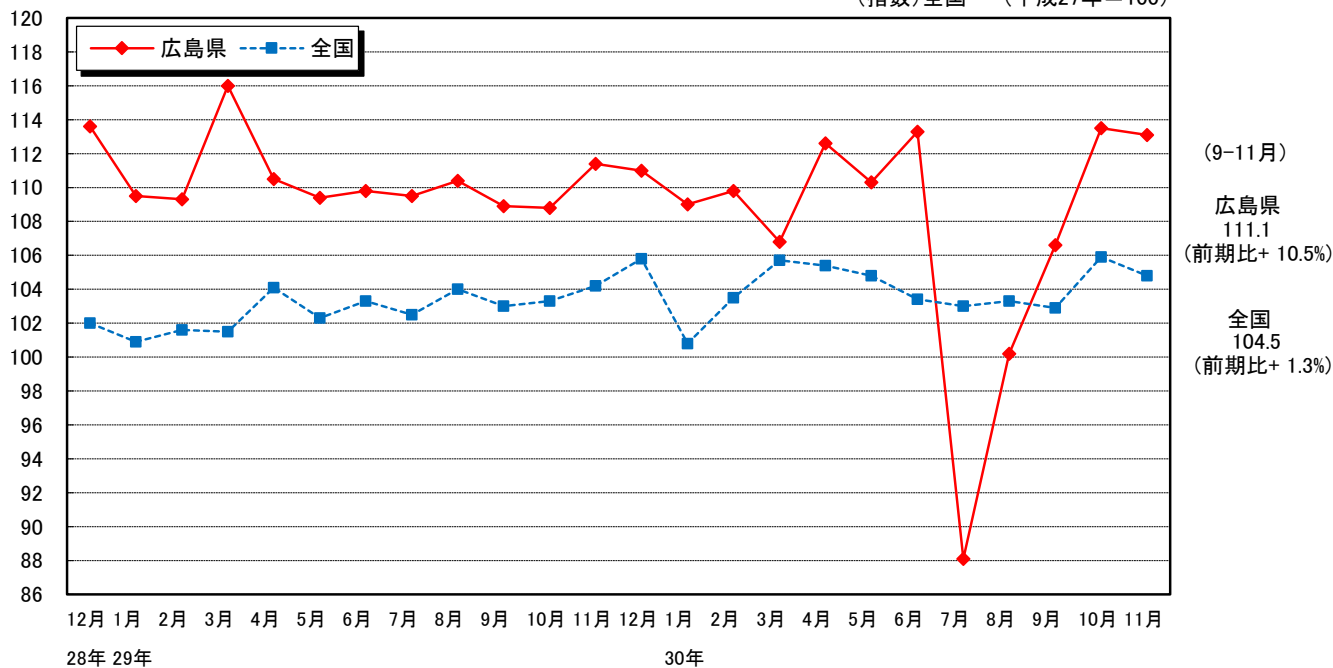


## 2. 生産活動 緩やかに回復している

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

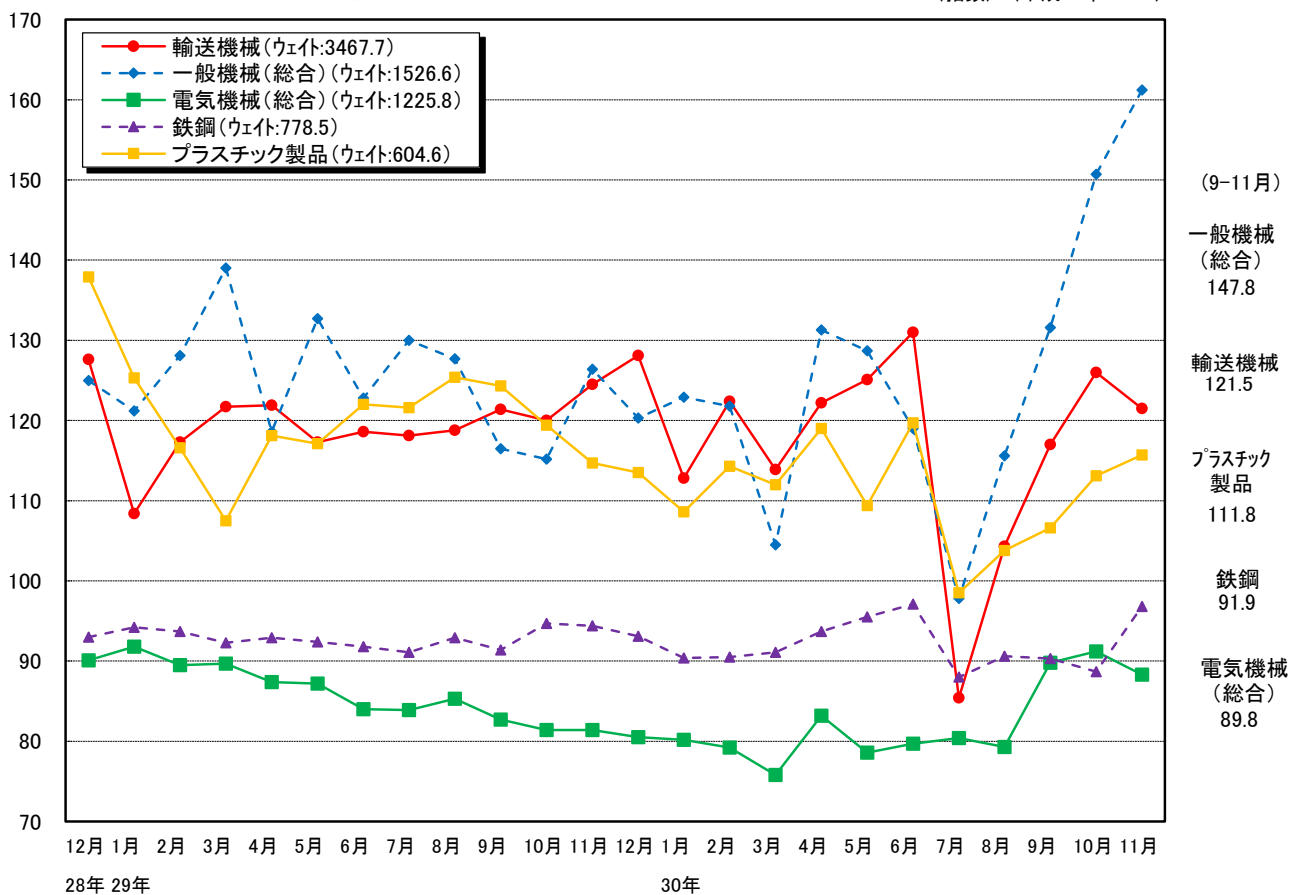
(指数)広島県 (平成22年=100)

(指数)全国 (平成27年=100)



(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成22年=100)

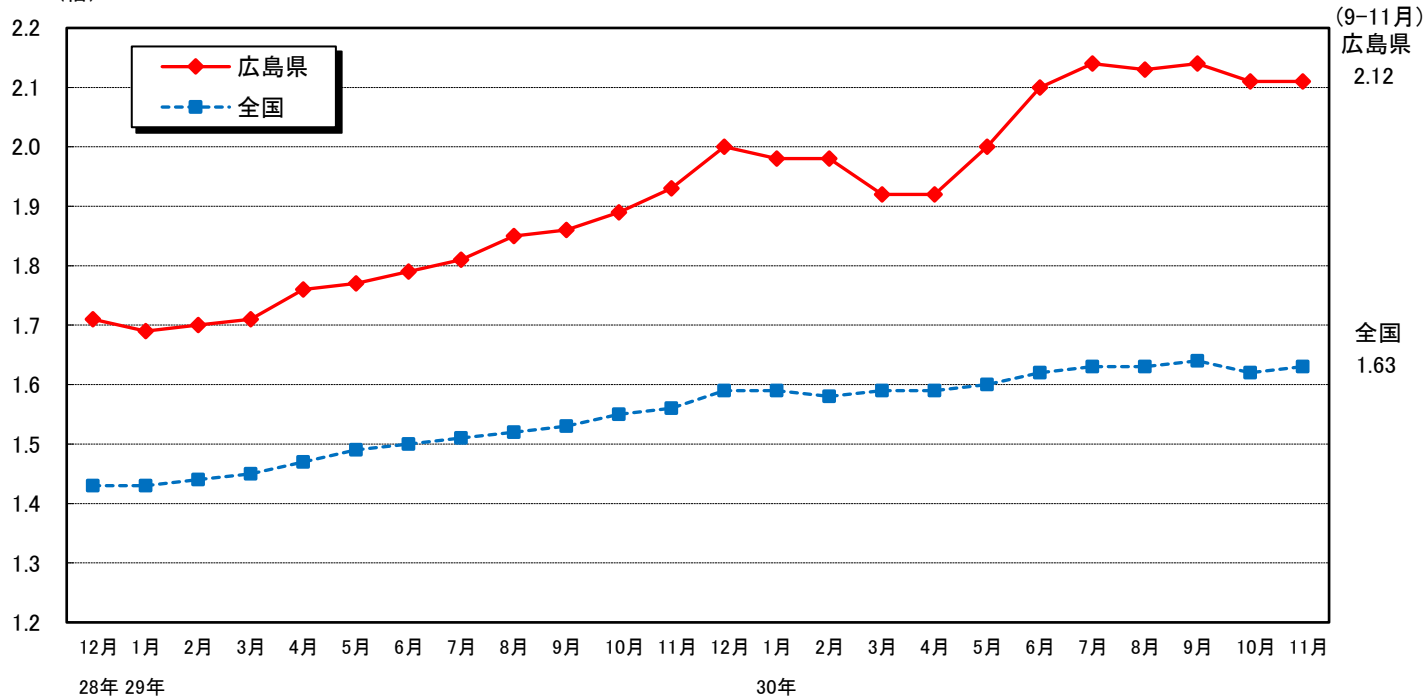




### 3. 雇用情勢 着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている

#### (1) 有効求人倍率(学卒を除く、季節調整値)

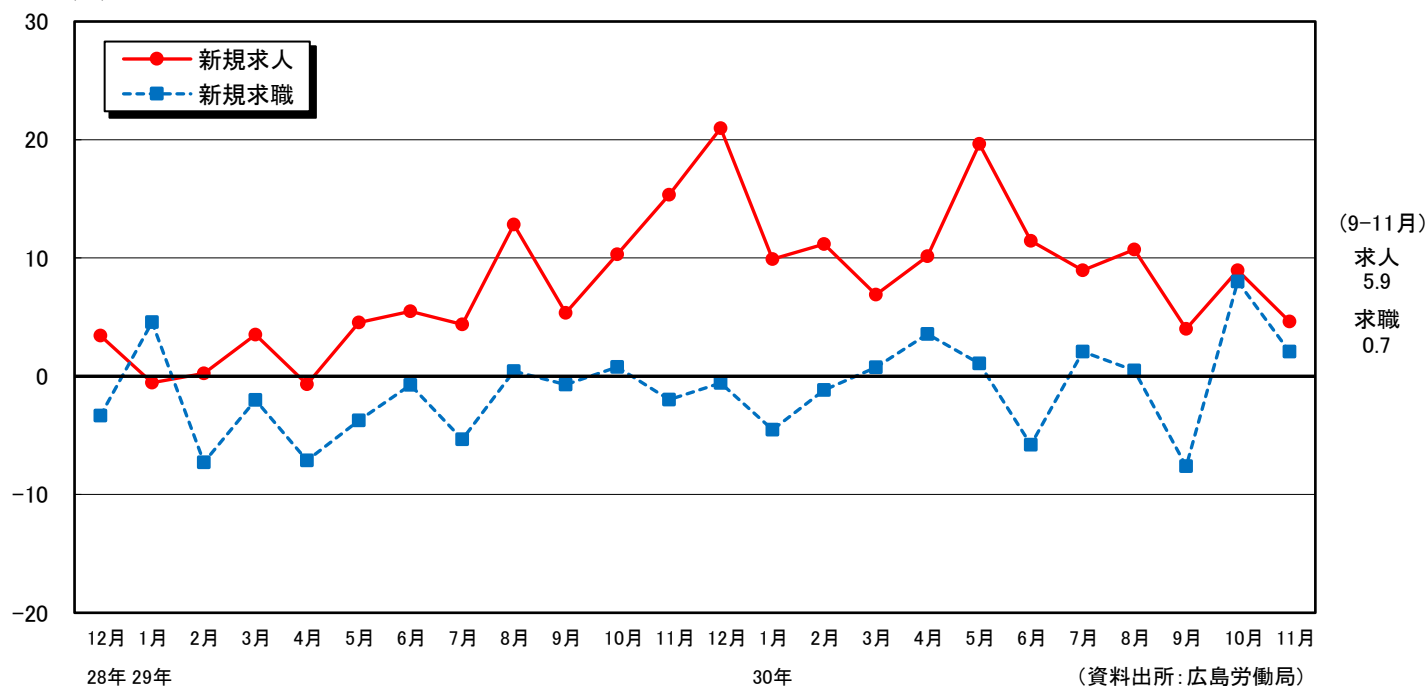
(倍)



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

#### (2) 新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比

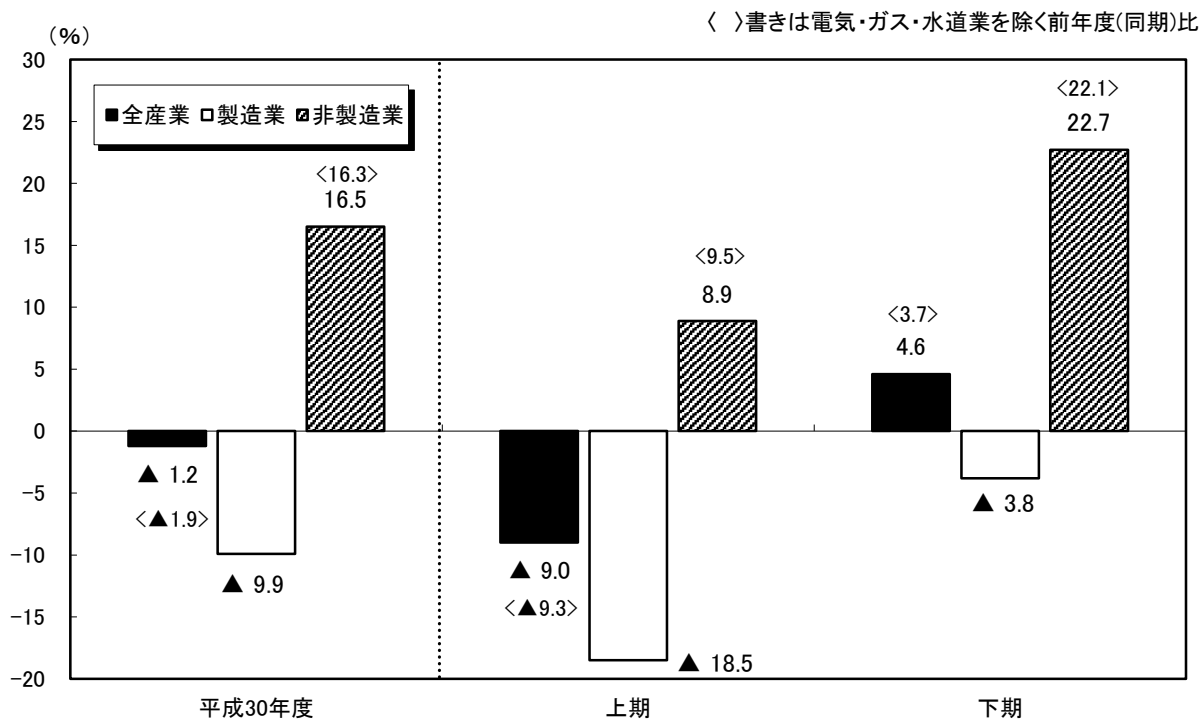
(%)



(資料出所:広島労働局)

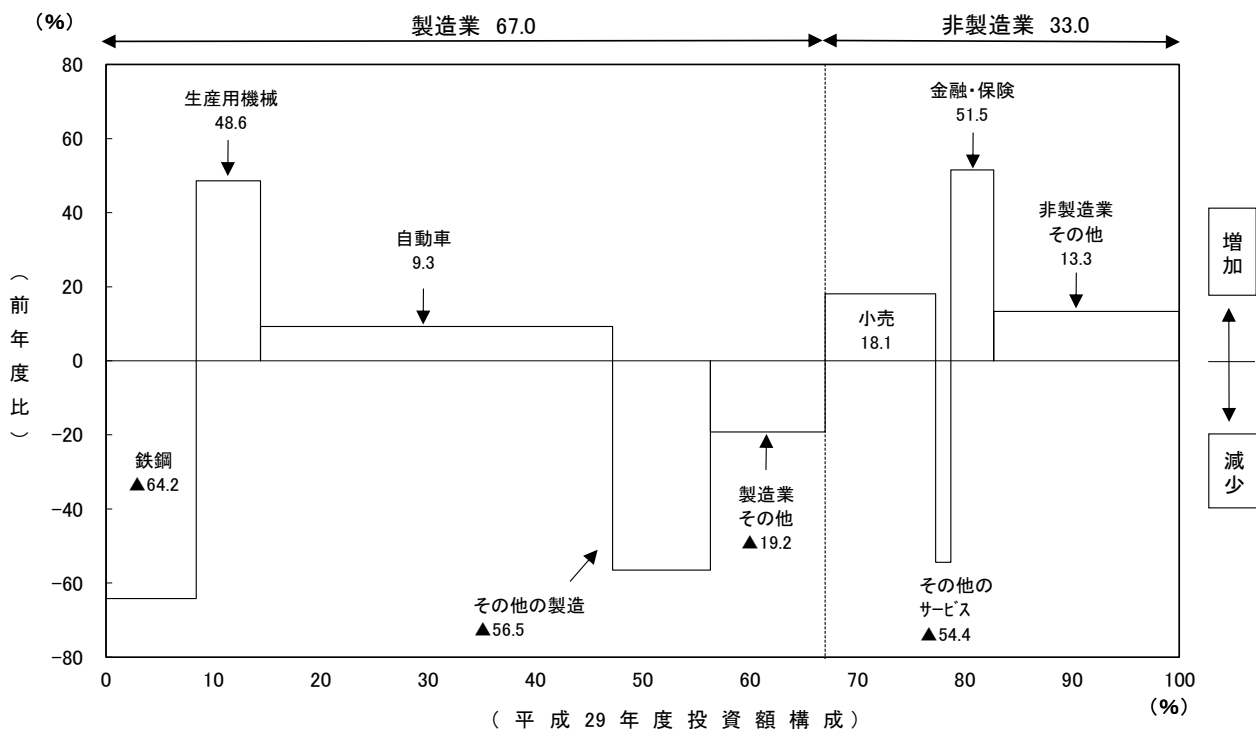
## 4. 設備投資 平成30年度は前年度を下回る見込み

### (1) 設備投資額(前年度(同期)比)



(資料出所:中国財務局)

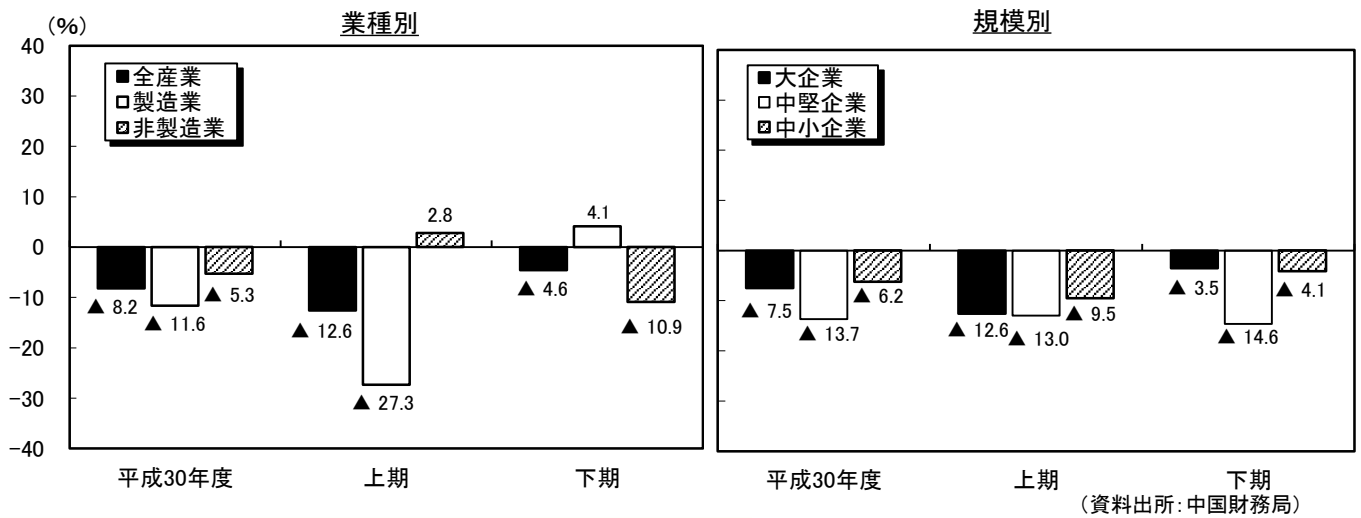
### (2) 主要業種別 (平成30年度)



(資料出所:中国財務局)

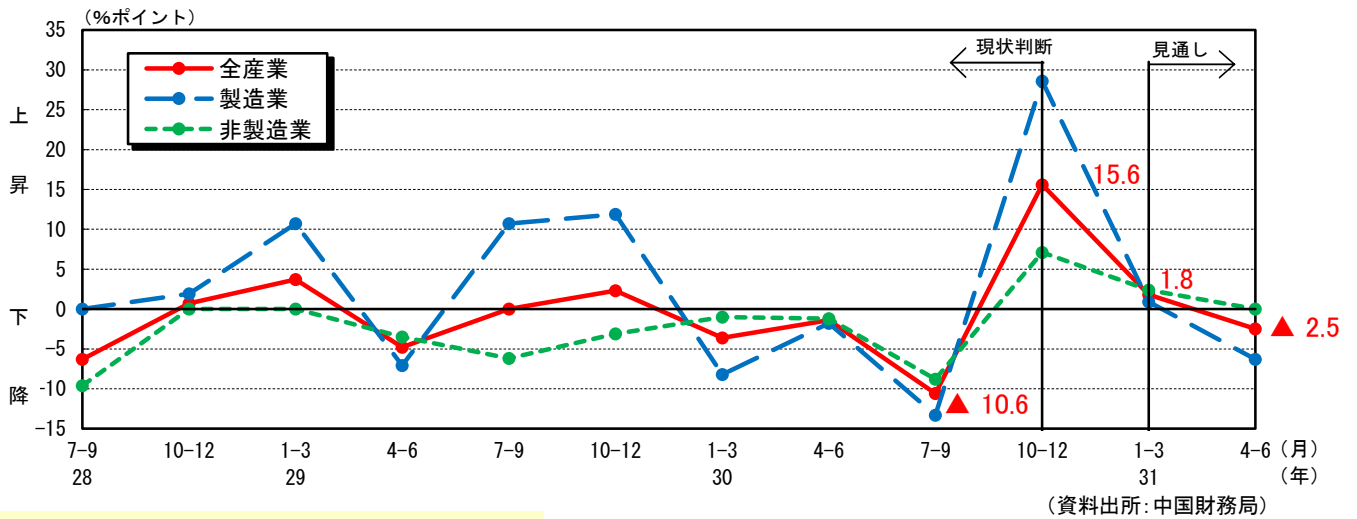
## 5. 企業収益 平成30年度は減益見込み

経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度(同期)比)



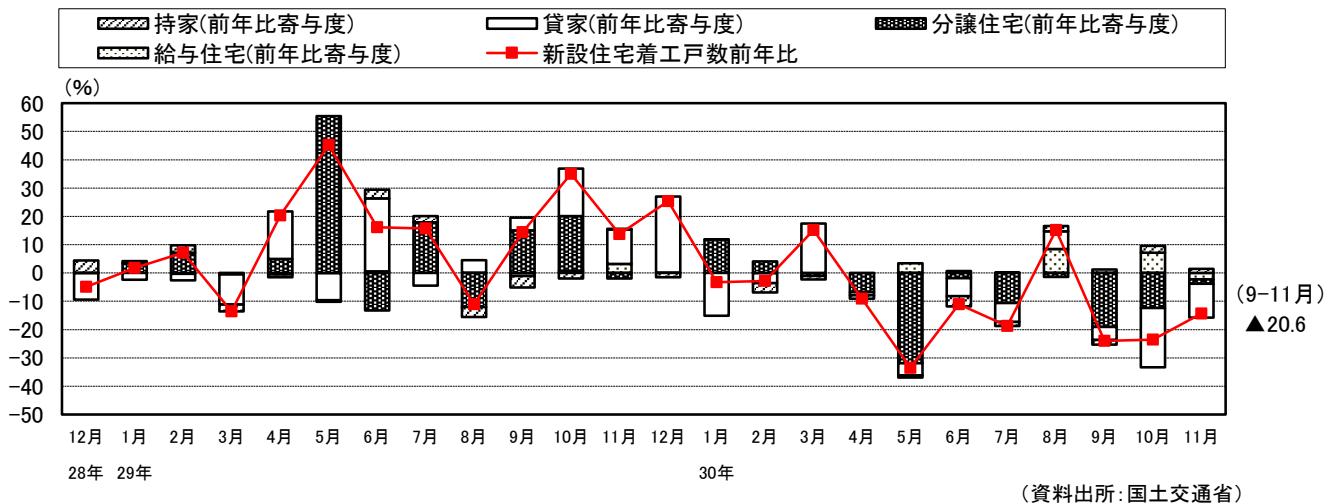
## 6. 企業の景況感 「上昇」超に転じる

景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



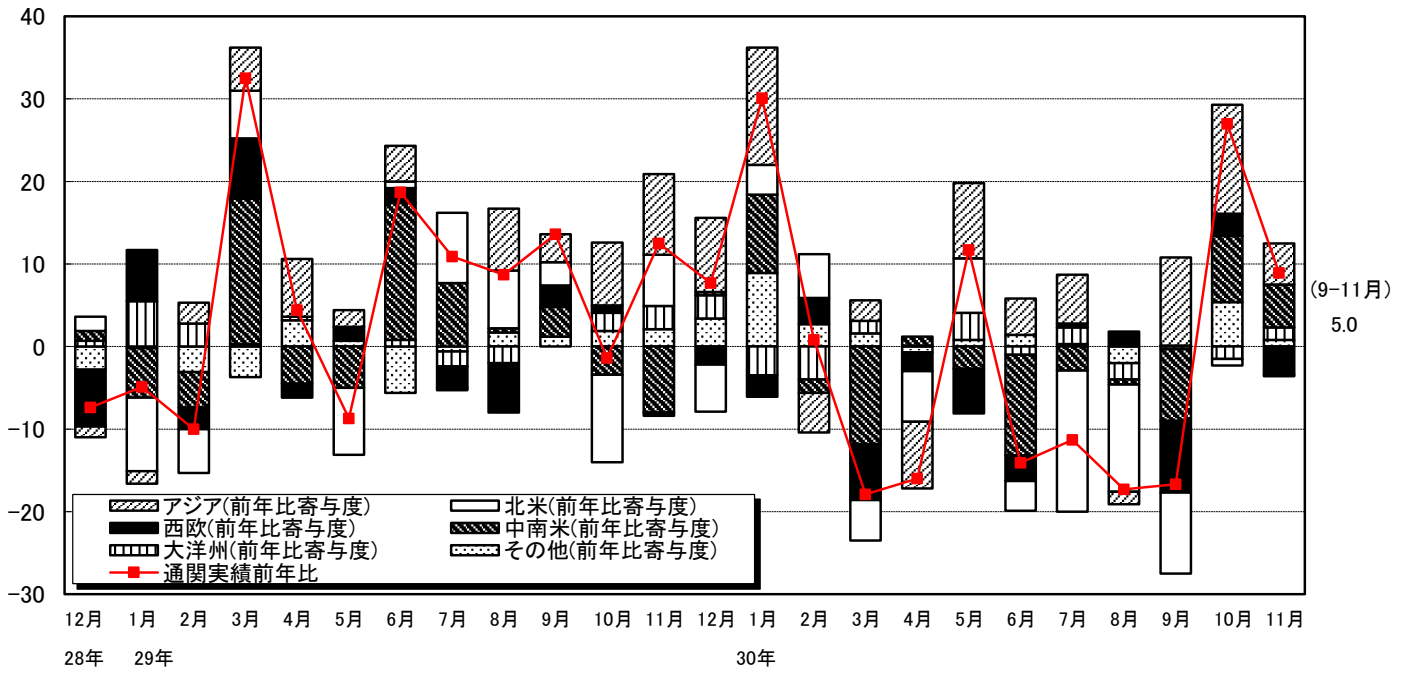
## 7. 住宅建設 前年を下回る

新設住宅着工戸数(前年比)



## 8. 輸出 前年を上回る

輸出(円ベース)  
(%)



<参考>  
輸入(円ベース)

